

※設備休止中につき、点検不用
(機能転換を検討中)

流れ灌水設備点検整備内容

(1) 点検整備

ア、自動給水装置

- ・外観点検
- ・電動ボール弁並びに電磁弁の動作確認
- ・ボールタップ並びに定水位弁の動作確認
- ・水位センサーによる動作確認（水位検知センサー清掃を含む。）
- ・発錆をみとめたときは、完全に除去し、防錆処理を行うこと。
- ・Y型洲トレーナ内容物（物資・量）の点検記録及び清掃（1回/年）
- ・給水タンク内清掃及び水の入れ替え

イ、水中ポンプ、電動機

- ・ポンプ本体、ケーブル等全体の外観点検
- ・運転状態の確認（異常音、振動）
- ・水中ポンプ本体のすわり状態の確認
- ・ストレーナーの目詰まりの確認
- ・液面計点検及び作動確認
- ・発錆部の塗装補修
- ・冷却液の確認
- ・圧力計等指示値の確認及び補充
- ・ガイドパイプの点検
- ・ポンプピット内清掃
- ・運転電圧、電流及び絶縁抵抗測定

ウ、塩素滅菌装置

- ・本体据付状態及び外観点検、清掃
- ・内部点検及びごみ、泥、水垢等の除去清掃
- ・運転、動作状態の確認
- ・薬品の量の確認及び補充（適宜）

エ、光酸化装置

- ・本体据付け状態及び外観点検
- ・内部点検及びごみ、泥、水垢等の除去清掃
- ・ろ材の点検、水洗い
- ・運転状況の確認（電流等）

オ、ストレーナー

- ・外観点検
- ・内部点検（ゴミ、異物の除去、清掃）
- ・蓋パッキンの確認

カ、ノズル

- ・外観点検
- ・散水状態の確認

キ、弁・配管類

- ・配管及び継手部からの漏れ点検
- ・締付金具類の緩み点検
- ・弁類は、ハンドルの操作性及び動作状態の確認
- ・ラッキングの外れ点検

- ・逆止弁の動作確認
- ・グリスアップ

ク、制御盤

- ・盤内外部清掃及び外観点検
- ・各回路の絶縁抵抗測定及び接地抵抗測定
- ・遮断器、電磁開閉器、リレー等の動作確認
- ・インバーター試験運転
- ・タイムスイッチの時間校正及び時間調整
- ・端子、ボルトのゆるみ点検

ケ、総合運転調整

- ・ポンプを作動させ、ポンプの異常音の有無点検並びにバルブによる水姿水量調整、ノズルによる水の噴き出し方向の調整を行う
- ・水姿の変化（シーケンス）の確認
- ・各機器の動作確認

(2) 故障並びに災害時等

故障並びに災害等が発生し要請があった場合は、速やかに対応すること。

※設備停止中につき、点検不用

噴水設備点検整備内容

(1) 点検整備

ア、自動給水装置

- ・外観点検
- ・電動ボール弁並びに電磁弁の動作確認
- ・ボールタップ並びに定水位弁の動作確認
- ・水位センサーによる動作確認（水位検知センサー清掃を含む。）
- ・発錆をみとめたときは、完全に除去し、防錆処理を行うこと。
- ・Y型洲トレーナ内容物（物資・量）の点検記録及び清掃（1回/年）
- ・給水タンク内清掃及び水の入れ替え

イ、水中ポンプ、電動機

- ・ポンプ本体、ケーブル等全体の外観点検
- ・運転状態の確認（異常音、振動）
- ・水中ポンプ本体のすわり状態の確認
- ・ストレーナーの目詰まりの確認
- ・液面計点検および作動確認
- ・発錆部の塗装補修
- ・冷却液の確認
- ・圧力計等指示値の確認および補充
- ・ガイドパイプの点検
- ・ポンプピット内清掃
- ・運転電圧、電流及び絶縁抵抗測定

ウ、水中照明

- ・防水コネクター、レンズ押さえ金具よりの投光器内部への水漏れ点検
- ・防水コネクター、レンズ、フィルター、取付金具等の発錆、破損、塗料はがれの有無点検及び水垢などの除去清掃
- ・水中ケーブルの亀裂など傷の有無及び柔軟性保持確認

エ、ろ過装置

- ・外観点検、清掃
- ・本体異状（振動等）有無の点検
- ・運転状態の確認
- ・ろ材の良否、量の確認

オ、光酸化装置

- ・本体据付け状態及び外観点検
- ・内部点検及びごみ、泥、水垢などの除去清掃
- ・ろ材の点検、水洗い
- ・運転状況の確認（電流等）

カ、コンプレッサー

- ・外観点検
- ・運転状態（異常音、振動）確認
- ・オイル量の確認及び補充
- ・Vベルトの確認
- ・吐出量の調整
- ・ドレン弁より水抜き

キ、ストレーナー

- ・外観点検
- ・内部点検（ゴミ、異物の除去、清掃）
- ・蓋パッキンの確認

ク、ノズル

- ・外観点検
- ・散水状態の確認

ケ、弁・配管類

- ・配管及び継手部からの漏れ点検
- ・締付金具類の緩み点検
- ・弁類は、ハンドルの操作性及び動作状態の確認
- ・ラッキングの外れ点検
- ・逆止弁の動作確認
- ・グリスアップ

コ、制御盤

- ・盤内外部清掃及び外観点検
- ・各回路の絶縁抵抗測定及び接地抵抗測定
- ・遮断器、電磁開閉器、リレー等の動作確認
- ・インバーター試験運転
- ・タイムスイッチの時間校正及び時間調整
- ・端子、ボルトのゆるみ点検

サ、総合運転調整

- ・ポンプを作動させ、ポンプの異常音の有無点検並びにバルブによる水姿水量調整、ノズルによる水の噴き出し方向の調整を行う
- ・水姿の変化（シーケンス）の確認
- ・各機器の動作確認

（２） 故障並びに災害時等

故障並びに災害等が発生し要請があった場合は、速やかに対応すること。

【資料・別 3－6】

点検整備報告書作成要領

八幡屋公園（一般園地・スポーツ施設共通）

点検整備報告書作成要領

1. 総則

本点検整備報告書作成要領は、別紙「点検整備基準表」で定めている設備の点検整備結果をまとめた報告書について、別紙「点検整備内容」どおりに行われたかどうかを本市職員が確認可能なものであることが不可欠であることから、報告書作成に必要な事項を定めるものである。

2. 報告書の体裁

報告書は、施設別かつ点検整備基準表の設備名称別にファイルとして綴じ、点検回数や年間複数回ある場合は、各々の回次が明確となるよう編集すること。

3. 報告書の様式

報告書の様式は本市で指定しないが、点検整備内容の項目ひとつひとつに対して点検または整備が行われたことを示すような様式でなければならない。指定管理者または指定管理者が発注する請負業者が使用している自社様式の報告書のみでは実施したと認められない可能性がある。点検整備内容の各項目について、点検結果の記載、測定記録、あるいは作業写真（4. 項参照）のどれをもっても実施したことが確認できない場合は、当該項目については点検整備がなされなかったものとみなされるので注意されたい。

4. 写真撮影について

点検整備内容の各項目について作業写真を撮影し報告書に添付すること。撮影方法については、別紙「作業写真撮影要領」を参照のこと。

5. 報告書の管理について

報告書は点検整備後速やかに作成または請負業者から受領すること。指定管理者が請負業者に発注する際は、報告書提出期限を設けることにより請負業者任せの提出時期とならないよう管理すること。

また、報告書は当該施設内で保管し、指定管理者が管理している他の施設や自本社社屋で保管しないこと。

作業写真撮影要領

この要領は、点検整備報告書作成要領に基づく作業写真または指定管理者が実施する設備修繕時の作業写真の撮影方法等を示したものである。

撮影の目的

写真撮影の目的は、点検整備内容に記載の作業内容（点検、整備、部品交換等）または修繕が実施されたことを後日第三者に証明することである。設備モニタリング時等において本市職員が確認できるようにしなければならない。作業時に指定管理者が立ち会っていたとしても写真撮影を省略することはできない。

全般事項

- ①写真はカラーとし、鮮明に撮影する。
- ②大きさは 83mm×117mm を標準とする。ただし、デジタルカメラによって撮影後写真帳へ編集するに当たり、鮮明度を損なわない範囲で縮小することができる。
- ③撮影時に、施設名称、業務名称、作業内容（点検内容、整備内容、交換部品名等）、作業日、実施者を記した黒板、白板あるいはパネル等（以下、「黒板等」という。）を写しこむこと。ただし、高所作業や狭あい箇所等で黒板等を写しこむことが危険な場合や、撮影対象物が遠方でピントが合わない場合等は、写真帳の説明欄に記載することで代えることを可とする。

黒板等の表記例

施設名称	大阪市中央体育館
業務名称	空気調和設備点検整備
作業内容	PAC-264 絶縁抵抗測定
作業日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
実施者	〇〇〇〇株式会社

デジタルカメラについて

- ①画素数は鮮明度を損なわないものとする。
- ②撮影直後に構図やピントが適正かを確認する。

フィルム撮影について

- ①撮影後速やかに現像、焼付を行う。

具体的な撮影対象の例（典型的なものを示したものであり、これらに限定するという意味ではない。）

- ①点検
 - ・点検作業中を撮影。点検している対象物が明確となるよう撮影する。
- ②整備
 - ・整備作業中を撮影。整備後の完成状態ではなく、作業中を撮影する。
- ③部品交換
 - ・交換前の旧品（既設）の取付け状態を撮影する。

- ・取りはずした旧品と新品を並べて撮影する。(どちらが旧、新かが分かるようにする)
 - ・新品の取付け後の状態を撮影する。(旧品の取付け状態と同等の角度、倍率で)
 - ・新品自体に型番の記載があれば写しこむ。(品自体になければ型番が記載された梱包ケース等を写しこむ)
- ④施工後の状態では容易に確認できないもの
- ・配管、バルブ、ダクトは保温前に撮影する。
 - ・地中埋設部分は埋設前に撮影する。
- ⑤気密試験
- ・開始時及び終了時の圧力計及び時計の数値が鮮明に見えるよう撮影する。(開始時と終了時は同等の角度、倍率で)
- ⑥安全対策
- ・安全対策を要する事項は安全対策を講じている状況を撮影する。
- (例)
1. クレーン作業時の荷の下への立入禁止措置の状況
 2. 高所作業時の作業床の設置または安全帯着用の状況
 3. 感電の恐れがある場所での絶縁用保護具の着用の状況
 4. 酸素欠乏及び硫化水素発生場所での濃度測定及び換気等の状況
 5. マンホールや搬入口の開口部における転落防止措置の状況
 6. クレーン車の転倒防止措置の状況
 7. 飛来物、落下物がある恐れのある場所での作業における保護帽の着用の状況
- ⑦不良箇所
- ・点検の結果不良と判断された場合は当該箇所を撮影する。

写真帳への編集(写真帳を別とせず報告書本文と一体でも可)

- ①写真帳の大きさはA4とする。
- ②写真は片面に3枚を収めることを基本とする。
- ③写真プリントしたものは写真帳から脱落しないようにする。
- ④デジタルカメラによる場合は、印刷したものでも写真プリントしたものでも可とする。
- ⑤写真は点検整備内容に記載の順または作業日順に並べる。

表紙	内容						
令和〇〇年度 大阪市中央体育館 空気調和設備点検整備 作業写真 〇〇株式会社	<table> <tr> <td>写真</td><td>説明</td></tr> <tr> <td>写真</td><td>説明</td></tr> <tr> <td>写真</td><td>説明</td></tr> </table>	写真	説明	写真	説明	写真	説明
写真	説明						
写真	説明						
写真	説明						

【資料・別 3－7】

点検チェックリスト・チェックシート様式

屋内プールの天井等の目視点検チェックリスト

施 設 名	
点検実施日	令和 年 月 日 () AM・PM : ~ :
点検実施者	

目視により天井、壁などに異常がないかを確認をします。場合によっては双眼鏡等も使用してください。

部位	点検項目	注意点など	コメント等
天井	ボードのたわみや垂れ下がり、ボードとボードの間の段差がないか	太陽光によりできる影や、他の部分と比べて違和感がある部分に注意する。	
	割れや欠け、傷などはないか	他の部分と比べて違和感がある部分に注意する。	
	しみはないか	しみがあれば、範囲の広がりを確認するために定点で適宜写真を撮るなどしておく。	
	カビが生えていないか	カビが生えていれば、範囲の広がりを確認するために定点で適宜写真を撮るなどしておく。	
	さびや腐っているようなところはないか	金属製の天井や鉄骨トラスなどについては特に注視する。	
見切縁等	ボードの見切縁（端部や折れ曲がり部分の棒状のもの）などが垂れ下がったりずれたりしていないか	ずれて段差ができていたり、曲がって隙間ができていたりしないか注意する。	
	天井点検口に歪みや変形などはないか	天井点検口の枠がずれたり、曲がったりしていないか注意する。	
壁	タイルなど部分的に盛り上がるように壁面が変形しているところはないか	変形しているところや浮いている面積が大きい、またはひび割れがあれば落下するリスクが大きくなるため特に注視する。	
	タイルなど欠けやひび割れ等がないか	ひび割れ部から内部へ水が進入する恐れがあるため注意する。	
	コンクリートが一部欠けたり膨らんだりしているところはないか	内部の鉄筋がさびて膨張してコンクリート片が剥離落下することがあるので、さび色の汁が濡れ出ている部分など注意する。	

次頁に続く

部位	点検項目	注意点など	コメント等
結露	結露等で天井ボードが濡れているような状況はないか	ジャグジー付近、窓の周辺、トップライトの周辺、カビが生えている部分などは特に注視する。	
	天井材に接する窓ガラスや枠等の金属部分に結露による水滴が垂れているような状況はないか	水滴の付いた金属に接するボードが濡れた感じがしたり、カビが生えたりしていたら特に注視する。	
	換気設備や空調設備が停止していないか	空気の流れが悪くなり、結露が発生しやすくなるので注意する。	
漏水	天井から雨漏りがしているところはないか	雨漏りによるしみがあるところは特に注視する。雨漏りの量によっては発生箇所直下を立ち入り禁止とするなどの緊急措置が必要である。	
	壁に雨水が垂れているところはないか	過去にそのようなところがあれば特に注視する。	
	雨が降っていないのに水漏れがしていないか	設備配管等による水漏れを疑う必要があるので、水漏れの量によっては発生箇所直下を立ち入り禁止とするなどの緊急措置が必要である。	
天井・壁取付金物・制気口・設備等	天井や壁に取り付いている照明器具、スピーカーその他の金物・設備等について、さびや変形はないか	支持する金物がさびている場合には特に注視する。	

普段より状況が悪化しているなど、状況の変化に気づいたことがあれば写真を撮影し記録しておくとともに、本市に相談するなどしてください。

また、必要に応じて立ち入り禁止措置、本市への連絡など、適切な処置をしてください。

屋内プール天井等の触診点検チェックリスト

施 設 名	
点検実施日	令和 年 月 日 () AM・PM : ~ :
点検実施者	

手で触れることが可能な部分を触って、異常がないかどうかを確認します。
 ただし、脚立程度で天井に手が届く範囲や点検歩廊などから天井に手が届く範囲にある部分に限ることとします。

部位	点検項目	注意点など	コメント等
天井	天井ボードを手で触っても、柔らかくなっているところや浮いているところなどはないか	しみやカビが見受けられる部分、あるいは結露の多い部分などを重点的に触って確認する。	
	しみやカビのある部分について、その範囲が広がっていないか	しみやカビのある部分について1週間から1か月程度前に記録した写真と比較して範囲の拡大がないかどうかを確認する。	
見切縁等	見切縁等を手で触っても、ぐらつきなどはないか	ずれて段差ができていたり、曲がって隙間ができていたりしている部分などは特に注意が必要。	
天井・壁取付金物・制気口・設備等	天井・壁の取付金物・制気口・設備を手で触っても、取付ボルトの緩みやぐらつきなどがないか	取付けボルトの緩みがないか、ぐらつきがないかなどを確認する。	
天井裏	脚立程度で天井点検口から天井裏が覗ける部分や、点検歩廊などから天井裏に入れる場合は、天井裏に異常がないか	天井裏が乾燥しているか、結露や雨漏れなどがないかなどを確認する。	

点検にあたっては、労働安全衛生規則等の法令を順守し、安全に十分配慮してください。
 点検の結果、異状があった場合は必要に応じて立ち入り禁止措置、本市への連絡など、適切な処置をしてください。

スポーツ施設の天井等の目視点検チェックリスト

施 設 名	
点検実施日	令和 年 月 日 () AM・PM : ~ :
点検実施者	

目視により天井、壁などに異常がないかを確認をします。場合によっては双眼鏡等も使用してください。

部位	点検項目	注意点など	コメント等
天井	ボードのたわみや垂れ下がり、ボードとボードの間の段差がないか	太陽光によりできる影や、他の部分と比べて違和感がある部分に注意する。	
	割れや欠け、傷などはないか	他の部分と比べて違和感がある、仕上げ材の浮きなどあれば、特に注視する。	
	しみやカビはないか	しみやカビがあれば、範囲の広がりを確認するために定点で適宜写真を撮るなどしておく。	
	さびや塗装が剥げているようなところや、腐っているようなところはないか	金属製の天井や鉄骨トラス、手すりなどの金属部材など、塗装の剥離、発さび部には特に注意する。	
見切縁等	ボードの見切縁（端部や折れ曲がり部分の棒状のもの）などが垂れ下がったりずれたりしていないか	ずれて段差ができていたり、曲がって隙間ができていたりしないか注意する。	
	天井点検口の取り付け具合に歪みや変形などはないか	天井点検口の枠がずれたり、曲がったりしていないか注意する。	

次頁につづく

部位	点検項目	注意点など	コメント等
結露	結露等で天井ボードが濡れているような状況はないか	窓の周辺、トップライトの周辺、カビが生えている部分などは特に注視する。	
	天井材に接する窓ガラスや枠等の金属部分に結露による水滴が垂れているような状況はないか	水滴の付いた金属に接するボードが濡れた感じがしたり、カビが生えたりしていたら特に注視する。	
	換気設備や空調設備が停止していないか	空気の流れが悪くなり、結露が発生しやすくなるので注意する。	
漏水	天井から雨漏りがしているところはないか	雨漏りによるしみがあるところは特に注視する。雨漏りの量によっては発生箇所直下を立ち入り禁止とするなどの緊急措置が必要である。	
	壁に雨水が垂れているところはないか	過去にそのようなところがあれば特に注視する。	
	雨が降っていないのに水漏れがしていないか	設備配管等による水漏れを疑う必要があるので、水漏れの量によっては発生箇所直下を立ち入り禁止とするなどの緊急措置が必要である。	
天井・壁取付金物・制気口・設備等	天井や壁に取り付いている照明器具、スピーカーその他の金物・設備等について、さびや変形はないか	支持する金物がさびている場合には特に注視する。	

普段より状況が悪化しているなど、状況の変化に気づいたことがあれば写真を撮影し記録しておくとともに、本市に相談するなどしてください。

また、必要に応じて立ち入り禁止措置、本市への連絡など、適切な処置をしてください。

なお、対象は原則としてスポーツセンターや体育館の体育室などの大規模空間とする。

スポーツ施設の天井等の触診点検チェックリスト

施 設 名	
点検実施日	令和 年 月 日 () AM・PM : ~ :
点検実施者	

手で触れることが可能な部分を触って、異常がないかどうかを確認します。
 ただし、脚立程度で天井に手が届く範囲や点検歩廊などから天井に手が届く範囲にある部分に限ることとします。

項目	点検内容	注意点など	コメント等
天井	天井ボードを手で触っても、濡れているところや浮いているところ、ぐらつきなどはないか	段差のできている部分、膨れている部分、しみやカビがある部分、あるいは結露の多い部分などを重点的に触って確認する。	
	しみやカビのある部分について、その範囲が広がっていないか	しみやカビのある部分について半月から 1 か月前に記録した写真と比較し、範囲の拡大がないかどうかを確認する。	
天井・壁取付金物・制気口・設備等	天井・壁の取付金物・設備を手で触っても、取付けボルトの緩みやぐらつきなどがないか	取付けボルトの緩みがないか、ぐらつきがないかなどを確認する。	
天井裏	脚立程度で天井点検口から天井裏が覗ける部分や、点検歩廊などから天井裏に入れる場合は、天井裏に異常がないか	天井裏の支持金物がさびていないか、雨漏れや結露などの異常がないかどうかを目視で確認する。	

点検にあたっては、労働安全衛生規則等の法令を順守し、安全に十分配慮してください。
 また、点検の結果、異状があった場合は必要に応じて立ち入り禁止措置、本市への連絡など適切な処置をしてください。

毎月、月初めに前月分の日常点検チェックリスト(月 1 回)の写しを本市に提出すること。
 なお、対象は原則としてスポーツセンターや体育館の体育室などの大規模空間とする。

スポーツ施設、屋内プール等の排水溝、会所等点検チェックリスト

施 設 名	
点検実施日	令和 年 月 日 () AM・PM : ~ :
点検実施者	

手で触れることが可能な部分を触って、異常がないかどうかを確認します。

ただし、脚立程度で天井に手が届く範囲や点検歩廊などから天井に手が届く範囲にある部分に限ることとします。

項目	点検内容	注意点など	コメント等
排水溝、 溝蓋、 軒樋、堅樋	排水溝に汚泥、枯れ葉等が堆積し、水の流れが悪くなっているか	排水溝との取り合い部で防水仕上の浮きや剥がれ等が発生していないか確認し、堆積物は速やかに除去する。	
	溝蓋がさびてぐらついたり、穴が開いたりしていないか	ステンレス製の溝蓋であっても溶接部分の破断発生の懸念もあるので、注意して確認すること。	
	軒樋、堅樋、取付支持金物に緩みやぐらつきなどがないか	堅樋中間接続部が外れていないかも確認し、樋に溜まった堆積物は速やかに除去する	
会所	会所周囲に汚泥、枯れ葉等がたまって、水の流れが悪くなっているか	会所取り合い部の防水の収まりに浮きや剥がれ、割れ等が発生していないか確認し、会所周囲に溜まった堆積物は速やかに除去する。	

点検にあたっては、労働安全衛生規則等の法令を順守し、安全に十分配慮してください。

また、点検の結果、異状があった場合は必要に応じて立ち入り禁止措置、本市への連絡など適切な処置をしてください。

(別冊)市設建築物日常点検チェックシート

日常点検チェックシート				点検年度		点検者名		施設名称				
点検対象部位				点検 周期	対象 有り	点 検 内 容	点検 月日	異常		緊急度の評価	異常の箇所、状態など	
								無	有			
建物(外部)	1	建物の敷地及び 地盤面		1年	☐	・地盤、舗装に不陸、傾斜、陥没はないか		☐	☐	A B C		
					☐	・側溝に著しい傾き、損傷、排水不良はないか		☐	☐	A B C		
	2	外構		1年	☐	・門扉に転倒のおそれのある傾き、開閉の不具合はないか		☐	☐	A B		
					☐	・塀や擁壁に、傾き、ひび割れ、損傷はないか		☐	☐	A B C		
					☐	・雨水・汚水会所の排水不良や会所蓋にガタつきはないか		☐	☐	A B C		
	3	構造上主要な部分		1年	☐	・柱、梁、壁や床にひび割れ、損傷はないか		☐	☐	A B C		
	4	屋根 屋上	陸屋根	1年	☐	・表面材(防水層)や伸縮目地材にひび割れや浮きはないか		☐	☐	A B C		
					☐	・排水溝やルーフトレン周りにごみや泥が溜まっていないか		☐	☐	速やかに対処		
					☐	・パラペット、笠木に、ひび割れや損傷、浮きはないか		☐	☐	A B C		
					☐	・手すりやタラップに腐食やガタつきはないか		☐	☐	A B C		
					☐	・飛散や落下するおそれのあるものはないか		☐	☐	速やかに対処		
			トップライト	1年	☐	・雨漏り、ひび割れなどの劣化はないか		☐	☐	A B		
	5	外壁		1年	☐	・外装仕上材のひび割れや浮き、剥落はないか		☐	☐	A B C		
					☐	・壁取付金物などの取付不具合はないか		☐	☐	A B		
					☐	・伸縮目地材(シーリング材)のひび割れ、硬化はないか		☐	☐	A B C		
	6	外部	軒天井	1年	☐	・軒天井の仕上りが落ちそうなところはないか		☐	☐	A B C		
			庇		☐	・庇部に漏水、さび汁の跡はないか		☐	☐	A B		
			樋		☐	・樋や支持金物に損傷やガタつきはないか		☐	☐	A B C		
バルコニー			☐		・手すりに腐食やガタつきはないか		☐	☐	A B C			
7	石綿を含有する可能性のある建材		1年	☐	・外壁仕上塗材等に劣化・損傷はないか		☐	☐	A			

点検対象部位	点検 周期	対象 有り	点 検 内 容	点検 月日	異常		緊急度の評価	異常の箇所、状態など
					無	有		

(別冊)市設建築物日常点検チェックシート

日常点検チェックシート				点検年度		点検者名		施設名称							
建物(内部)	1	建物内部	天井	1年	☐	・天井材にひび割れ、染み、浮き等はないか				☐	☐	A	B	C	
	2		壁	1年	☐	・壁材にひび割れ、浮き、剥れ等はないか				☐	☐	A	B	C	
	3		床	1年	☐	・床材にひび割れ、浮き、剥れ等はないか				☐	☐	A	B	C	
	4	建具		1年	☐	・扉や窓の開閉、鍵に不具合はないか				☐	☐	A	B	C	
					☐	・ガラスにひび割れ、損傷はないか				☐	☐	A	B		
					☐	・ガラスと建具の枠の間に隙間やガタつきはないか				☐	☐	A	B		
					☐	・建具や枠に変形、損傷、腐食はないか				☐	☐	A	B	C	
					☐	・自動扉やシャッターの作動は正常か				☐	☐	A	B		
	5	階段		1年	☐	・床材にひび割れ、浮き、剥れ、段差はないか				☐	☐	A	B	C	
					☐	・滑り止めのずれ、擦り切れ、破損などはないか				☐	☐	A	B	C	
					☐	・手すりのガタつき、握り部のささくれなどはないか				☐	☐	A	B	C	
					☐	・通行の障害になる物品の放置はないか				☐	☐	速やかに対処			
	6	石綿使用材料飛散防止措置		1年	☐	・囲い込み材のひび割れ、損傷はないか				☐	☐	A			
					☐	・封じ込めを行った石綿含有吹付け材等の剥落はないか				☐	☐	A			
					☐	・吹付けひる石や折版裏打ち断熱材等の劣化が進んでいないか				☐	☐	A			
		石綿を含有する可能性のある建材		1年	☐	・劣化、損傷がないか				☐	☐	A			

体育館床安全点検チェックシート									
施設名						施設管理者		印	
住所						立会者		印	
						点検年月日		年 月 日	
点検者						点検者所属会社			
点検部位		床下地H= (鋼製・置床・木下地) メーカー名 捨板t= フローリングt= 材種 (大型積層・無垢・積層) (普通・特殊) その他				点検種別		☐ 日常 ☐ 定期 ☒ 特別	
(1) 目視及びヒアリング、触指による点検									
		点検項目	点検内容	点検結果	再検討	点検項目所見	緊急✓	対処日	
1	☐	保護	全体的な清掃は行き届いてるか？	良 / 否					
2	☐	保護	触指による砂・ホコリの状態	多 / 少					
3	☐	保護	体育館モップが使用されているか？	良 / 否					
4	☐	保護	体育館モップの手入れは行き届いてるか？	良 / 否					
5	☐	保護	足拭きマットの配置・手入れは適正か？	良 / 否					
6	☐	保護	床用コンディショナーの適正配置	良 / 否					
7	☐	保護	電気掃除機の適正配置	有 / 無					
8	☐	塗装	ポリウレタン塗装の艶、摩耗の状態	良 / 否					
9	☐	塗装	ポリウレタン塗装の滑り過ぎ具合と摩耗状況	有 / 無					
10	☐	塗装	ポリウレタン・コートラインの傷や剥がれ	有 / 無					
(2) モッピング及びヒアリング、目視による点検									
11	☐	フローリング	雄実割れ 釘及びビス頭露出	有 / 無					
12	☐	フローリング	補修が必要なササクレ 割れ 傷	有 / 無					
13	☐	フローリング	目隙 反り 浮き 凹み	有 / 無					
14	☐	フローリング	木栓ダボの浮きや抜け	有 / 無					
15	☐	フローリング	黒染み、腐食、異臭、虫食い	有 / 無					
16	☐	フローリング	縁廻り等のエキスパンションゴムは正常か？	良 / 否					
17	☐	床金具	蓋の開閉は正常か？	良 / 否					
18	☐	床金具	割れ・浮き・目違い	有 / 無					
(3) 体感及びヒアリング、目視による点検									
19	☐	塗装	ワックスの塗布	有 / 無					
20	☐	床下地	点検口開口及び換気口の不具合	有 / 無					
21	☐	床下地	床の撓みや歩行感の違和感	有 / 無					
22	☐	床下地	異常な床鳴りや軋み音の発生	有 / 無					
23	☐	床下地	器具庫・搬出入口や出入口の不具合	有 / 無					
24	☐	床下地	ボールのドリブルによる違和感	有 / 無					
総合所見									